

参考資料 2

交通行動調査結果【福祉作業所へのヒアリング調査】

-
1. 調査概要
 2. ヒアリング調査結果

1. 調査概要

2

■ 調査目的

公共交通（鉄道やバス）を利用しにくいことが想定される障害をお持ちの方を対象に、交通行動を詳細に把握する。また、移動の制約と合わせて、制約を解消するために必要な支援内容を把握する。

■ 調査対象施設

	ヒアリング施設	実施日	ヒアリング 人数
1	わかば第二事業所	令和7年10月6日(月)	6人
2	めじろ作業所	令和7年10月6日(月)	1人
3	ワークライフカレッジ すとっく	令和7年10月6日(月)	12人
4	ディーキャリア 調布オフィス	令和7年10月6日(月)	2人
5	旭出調布福祉作業所	令和7年10月7日(火)	5人
6	希望の家	令和7年10月7日(火)	2人
7	リフレッシュ工房	令和7年10月20日(月)	3人
計			31人

施設名 : _____	ヒアリングシート
○回答者ご本人について	
ご回答者様	性別 : 男性 · 女性 年代 : _____ 歳代
お住まい	町字 : _____
普段の外出頻度	平日 : _____ 休日 : _____
お一人での移動	可能 · 付き添いの方がいれば可能
○当施設までの移動手段	
当施設まではどの移動手段で来られましたか？（公共交通機関、送迎バス、家族による送迎など） _____	
週に何回来られますか？ _____	
○普段の外出状況について	
外出が多い場所・時間帯、よく利用する移動手段を教えてください。 _____	
普段の移動・おでかけの際に何かお困りになっていること、不便に感じることはありますか。 _____	
お困りごとを解消するにあたり、今後、どのような改善が必要だと思いますか。 _____	
○市内の公共交通に関するご意見・ご要望	
その他、市内の公共交通に関するご意見・ご要望があれば教えてください。 _____	

2. ヒアリング調査結果

3

● 普段の移動状況

- 回答者の普段の移動手段、移動頻度は以下の通りである。

【普段の移動手段】

- 自宅周辺であればお一人で行動できる方が多く、市内の電車、バスも乗車できる方が多い。 [28人／31人]
- 一方で遠出の移動は難しい（または苦手）と回答する方もいる。 [4人／31人]
- お一人での移動が難しい場合、ご家族やヘルパーが同行して出かける方もいる。 [4人／31人]

【外出頻度】

- 平日はほぼ毎日外出する方が多い。 [4人／26人]

2. ヒアリング調査結果

4

● 困りごと、不便に感じること（主な意見）

<普段の行動パターンと異なる環境下での移動>

- 駅等の改修工事の実施時や電車遅延時など、普段の移動パターン（行動ルーティン）が崩れるため、スムーズな移動が困難になる。

<公共交通機関の利用案内について>

- 公共交通利用時に困った際、尋ねられる人がいない。

<電車>

- 電車の行き先や種別がわかりづらい。
- 電光掲示など、流れる情報を目で追い理解するのが大変。

<自転車関連>

- 自転車通行者の運転に危険を感じる。

<バス>

- 運転時はバスが混雑するため乗降が大変。座れない。
- 民間バス、ミニバスの本数が少ない。

<車いす利用について>

- 車いすで通行できる道路・歩道が限られる。
- 駅員にスロープを依頼しないと電車に乗車することが難しい。
- 電動車いすの利用時間は限られており、遠距離の移動は難しい。

2. ヒアリング調査結果

5

● 必要な改善事項・要望など（主な意見）

<案内について>

- わかりやすい案内をしてくれる人がいると嬉しい。
- バスの行き先の系統番号がわかる端末（デジタルサイネージ等）があるとよい。
- ダイヤ変更などがあればわかりやすく公表してもらえるとありがたい。

<電車・バス>

- 雨天時はバスが混雑するため本数を増やしてほしい。

<タクシー>

- 運転士の態度がよくなかったこと也有った。

<バス待ち環境について>

- バス停に屋根を設置してほしい。

<ヘルパーについて>

- ヘルパーさんが不足しており行きたくてもいけない場所もある。

● わかば第二事業所 職員の方のお話

- 電車遅延、バス停移設工事、駅のメンテナンス（エレベーター、エスカレーターなど）の情報が集約されて提供できる環境があるとよい。
- 移動手段自体のサポートよりも、情報面での作業所向けサービスがあるとよい。
- 電車遅延などの状況で本人、作業所、ご家族にサポートできる情報が必要と考える。